

### 第3講 ギリシアの自然環境

国土面積 13万平方キロ（日本 36万平方キロ）

ピンドス山脈～アルカディア高原～クレタ島～タウロス山脈

オリンポス山系～エウボイア島～キクラデス諸島

三方海：イオニア海（アドリア海）・クレタ海・エーゲ海

北方でヨーロッパ大陸と

耕地：1万9000㎢（14.4%）

#### 土地利用

森林 14.8%（日本 68%）

耕地及び果樹園 26.2%

牧草地 39%

不毛地 20%

#### 地中海東部地域

亜熱帯高気圧帯（サハラ砂漠）と温帯低気圧帯（ヨーロッパ中部）

夏は亜熱帯高気圧帯、冬は寒帯前線→夏の高湿乾燥

アテネの年間降雨量：390ミリ（東京：1400ミリ）

夏季の3ヶ月間：気温（平均）24.6～27.1～27.1度

（東京：21.7～25.2～27.1度）

降雨量 8.9～3.1～6.5ミリ

（東京：182.2～126.1～147.5ミリ）

葡萄の糖分を高める・穀作を避ける

地域による極端な気候条件の違い

イオニア海やアドリア海沿岸：1000ミリ前後の降雨

ペロポネソス東部～エーゲ海域：400ミリ以下

ギリシア北部～マケドニア：冬期における凍結

#### 農業への影響

麦（特に大麦）・冬作（10～11月に播種・5月に収穫）

異常気象の影響を避ける

葡萄（9月に摘み取り）とオリーブ（11月に摘み取り）

冬季の気温（平均）9～11度（霜が降りない）

葡萄の仕込み（9月中旬に仕込み）

木材資源・鉱物資源の不足

木材：イリュリア・マケドニアから輸入

鉱物：キプロス・アナトリア内陸部から輸入

漁業：回遊性の魚（マグロやカジキなど）・タコ・イカ

牛・馬・羊・山羊など

海上交易

春の海運（4月）・夏の航海（6～8月：夏至の後50日間）

東地中海の海流：反時計回り

夏のエテシアイ（北北西の風）を利用

ウルブルンの沈没船（ギリシア→エジプト→シリア→キプロス  
→トルコ）

平均130積載重量トン（3000メディムノス）程度の小型帆船（一本  
マスト）

水線長：19～33メートル・船幅：7～10メートル

商船の平均速度：2～6ノット（時速3.6～10.8キロ）

1日平均32～96キロ

海の広さと航海

エーゲ海：幅150キロ（二日半）　長さ：600キロ（九日半）

アテネ～クレタ島：300キロ（四日半）

アテネ～ダーダネルス海峡：300キロ（四日半）

ダーダネルス海峡～イスタンブール：200キロ（三日半）

クレタ島～リビア：300キロ（四日半）

リビア～エジプト：600キロ（九日半）

エジプト（アレクサンドリア）～シリア（ベイルート）：

600キロ（九日半）

アジアや黒海、イタリア方面とのつながり

ギリシアにおける環境破壊のモデル

氷河期時代 ステップ (ヨモギ・アカザ)

